

CASE 08

親子・家族間交流

イクメン対象ワークショップ

9名

イクメン

- 日時：(1回目)2014.10.5 13:45~18:10
- 場所：横浜市神奈川区(コットンハーバータワーSE棟23階)
- 対象：イクメン(4名)とその家族(2組)
- 講師：みらい育ティーチャー2名
- 絵本「じっとみて。」の制作



目標

パパの思いを詰め込んだパパが作者となる「読み聞かせ絵本」を作成する。パパの思いを絵本にしていく過程で、ママや子供たちがパパの思いにより近づき、愛情を感じたり、確認したりする。同時に、親子でお互いを一人の人として見つめる機会をつくり、子供は親からとても愛されていることを感じることで、大切な存在である自分を認識する。



パパは目を閉じ、イメージを真剣に探しています。



全体の感想

絵本制作&交流を通じて、学生時代の頃の話や趣味、趣向など、人となり共有されるため、会話は仕事や会社の話にも及び、初めて会ったパパ同士がすっかり打ち解けていきました。なかなかパパ同士の交流の場が少ない中、絵本制作を通じて一気に近づける関係性が生まれた良い時間になりました。

パパの魅力紹介

最後のページ、新しいタネのシーンです。どれひとつ同じものがない個性あふれる多種多様なタネを大きな手で包みこむイメージが描かれました。「大切に守りたい」というコメントとともに、パパのあたたかく大きな愛情が表現されました。



花のシーン。大学時代、山岳部として活躍していたパパのエピソードが飛び出しました。山が好きだということ、決して派手ではないけれど凛とした姿で咲く山の花が好きだというパパのロマンが表現されました。自然を愛する気持ちが会場全体に満たされました。

最初のタネのページです。今日1日の平和や幸せを見守るような、パパの大きな愛情が表現されているようです。どんな時でも、安心できる存在でありたいという想いが伝わってくるようです。



感想

- ・決めた答えに向かって作るのではなく、その時の想いをイメージとして出す楽しさ、難しさがある機会でした。(42男性・4歳と11ヶ月のパパ)
- ・他の方のストーリーを聞くと、とても参考になり楽しかったです。どんな人なのか、どんなことが好きなのか、絵に表れるんだなあと思いました。(40代男性・小3女子と小5男子のパパ)
- ・我が子のまっすぐさ、強さを知ることができました。(ママ)

エピソード

「めんどくさい」が、夢中に変化した小5の男子



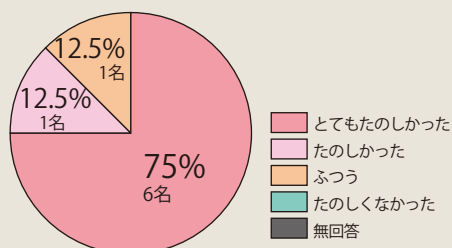
パパに連れられ、仕方なく参加した小5男子は、はじまりのタネのシーンで今の気持ちを「めんどくさい」と書きました。しかし、次のシーン(芽)から繊細かつ大胆な表現に変化し、夢中のスイッチが入りました。

思春期へと向かう多様な感情がどうしようもなく入り乱れる内面に、戸惑いを隠せない彼のイメージが描かれています。

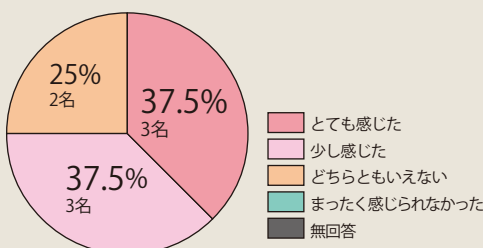
(8名回答)

アンケート集計

1. 絵本制作の率直な感想をお聞かせください。



2. 制作を通じて、自己肯定感(いいな、自分!)は感じられましたか?



3. 様々な価値観を受け入れる機会となりましたか?

